



池田小だより

2月号 No. 12

新座市立池田小学校 令和6年1月31日(水)

学校のキャッチフレーズ

「やる気・ゆう気・げん気あふれる学校 池田小」

学校生活・あしたへの基本をつくる

校長 鶴田 千尋

暦の上では、間もなく春という時期になりましたが、まだまだ寒い日が続いています。子供たちは、寒さに負けず、元気に学校生活を送っています。巷では、様々な感染症も流行っているようです。風邪をひきやすい季節でもあります。基本的な感染対策(手洗い、うがい、換気など)をしっかりと行い、健康第一で過ごしていきたいものです。

あしたへジャンプ

小学校の教育課程を編成する各教科において、学年が上がると新たに加わる教科は社会や理科、保健、家庭があります。一方で、生活は2年生までで、それ以降はなくなってしまう教科です。

生活は平成元年の学習指導要領の改訂により創設されました。「具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成する」ことを目標にしています。低学年時は、対象と直接関わったり、対象とのやり取りをしたりする体験の中で、資質・能力が育成されるという特性があります。この時期を逃さず、様々な体験をとおして多くの気づきを得させ、それを子供たち自身の実生活を豊かにするための成長に役立てていくことを行います。3学期の2年生は、生活の総まとめの授業を行います。「あしたへジャンプ」として、自分の成長や支えてくれた人々の

ことについて考え、感謝の気持ちを持ち、今後の成長への願いをもって、意欲的に取り組むことをめあてにしています。

実際の授業では、小学校に入学して2年がたった今の自分を振り返りながら、自分でできるようになったことや役割が増えたことなどに気付くことが大切です。「鉄棒で逆上がりができるようになった」こと、「おうちでは、お風呂掃除のお手伝い」をしていることなど、小学校に入学して以来たくさんの成長がみられるのではないのでしょうか。日々の成長は極僅かでも、振り返ると実にたくさんの成長をしているものです。この授業をとおして、多くの気づきが生まれてほしいと思っています。後日発表会などの行われる際には、ぜひとも参観していただきたいと存じます。

聞く

学校では、話をよく聞くことを指導しています。主体的・対話的で深い学びが求められていますが、その根底にあるのは話を聞くことです。

特に低学年で教えられることが多いようですが、「目で聞く」という言葉があります。聞くときは相手の方を見て、しっかりと集中することを表現したもので、理にかなっていると思います。今学期も残り2か月、授業などしっかりと「目で聞」いてほしいものです。よろしくお願いします。



池田小創立50周年記念
キャラクター「いけぼん」

新座市立池田小学校

〒352-0015 新座市池田4-8-49 (HP) <https://e-ikeda-c-niiza.edumap.jp/>

